

## シンポジウム1「次世代中医学を目指して：我々は何をすべきなのか？」

第1回学術総会会頭

平馬直樹

私たち中医学徒が目指すものとして、私は継承・適合・普及・発展の8文字を常に心がけている。正しい継承、現代医療への適合、医療界・一般社会への普及、学術的技術的な発展の達成である。

継承はまず文献の継承、古典文献においては最善のテキストを学ぶ、歴代の医論、医案を整理して活用可能な形に整理する。次に技術の継承は手本とすべき老中医、名人の臨床から学び、学んだものを共有する。学術総会でもことに針灸分野では中国からの招待中醫師と実技交流を行っている。この作業は、適合・普及・発展の基礎を固めることとなる。

適合は、進歩を続ける現代の医療のどの分野のどのような場合に中医学が貢献できるかを模索し、現代医療の1分野を占めること。そのためには中国や世界各地の中医学の役割を学び、中西医結合を推し進めることが重要と考える。

普及はまず医療界への普及、前項の適合と一体だがどのような場合に中医学を応用できるか、医療界への認知を高める。中医学を担おうとする医療人の養成を進める。中医学でも各種の講習会、講座を開いてきたが、さらに拡充する必要がある。専門医制度を整え、中医学の専門人材を養成する。従来の講習会は阿蘇セミナーを除き、東京近辺で開催され首都圏の会員にのみ提供されてきた。オンライン講習が一般化している今、地方の会員にむけてもオンラインの講習会を拡充すべきだ。また、地方の会員も講習の講師として協力をお願いすべきだ。また、一般社会への普及を図るためには、中医学の認知度を高め、有効性をアピールし続けなければならない。一般を対象とした講演、マスコミへの働き掛けも必要だろう。一般への普及を図るためにも臨床の場でその要請に応え得る人材の養成は要となる事項である。

発展は、現代医学が解明する人体の生理、病理、病態、治療のアイデアなどを踏まえて、中医学に何を取り込み、吸収し、紹介し、活用していくか、また、継承した中医学の遺産を現代化して活用できるか、それによって治療領域を広げ、治療効果を高め、中医学の有用性を拡大し、将来に続く進歩の道を築いていくことと考える。

これらを実現していくためには、広い視野が要求される。適合・発展のためには現代の医療に対する広く深い視野が必要である。また世界の中医学が現代医療に果たしている役割を広い視野で観察し学び、日本の状況も世界に発信していかなければならない。とりわけ中国の中医学界との交流は有益である。学会では4月から7月にかけて、COVID-19の中医学治療の状況を、武漢及びその他の地で経験した中醫師からオンラインで学んだ。中国の先進的な中医学治療の実際に触れることができ、おおいに裨益された。学会の国際交流委員会が、世界の中医学との継続的なオンライン交流を企画している。世界との交流をさらに盛んにして、「8文字」を実現していきたい。